

結実確保に向けて花粉を採取しましょう

高品質安定生産の第一歩は結実確保です。

結実するには和合性である品種の花粉が必要です。

授粉樹がない、もしくは足りない場合には花粉を採取して人工授粉しましょう。

授粉に最適な品種

受粉する品種との和合性を必ず確認して、和合性である品種から花粉を採取します。確認したい時には、りんご生産指導要項などを参考にしましょう。

三倍体品種（「ジョナゴールド」など）や花粉がない「星の金貨」は利用できません。

例 「ふじ」に受粉したい場合

- ・「シナノゴールド」、「きおう」、「シナスイート」、「トキ」、「金星」、「つがる」、「王林」など。
- ・当年の授粉に使用する場合は、やや寒い日でも発芽率が高く、花粉量が多くて「ふじ」よりも早く咲く「トキ」がおすすめです。
- ・翌年に使う花粉であれば「金星」、「シナノゴールド」がおすすめです。

りんご品種のS遺伝子型、開花日及び花粉発芽率（平成27、29年 りんご研）

品種	S遺伝子型	開花日	花粉発芽率 (%)			花粉量
			10℃	15℃	20℃	
ふじ	S ₁ S ₉	5月2日	68.4○	69.7○	77.5○	多
金星	S ₂ S ₉	5月2日	50.5○	62.9○	72.4○	多
シナノゴールド	S ₁ S ₃	5月3日	51.2○	74.1○	72.6○	多
シナスイート	S ₁ S ₇	5月3日	40.3×	71.9○	73.7○	中
夏緑	S ₃ S ₉	5月1日	36.1×	58.9○	70.2○	中
トキ	S ₂ S ₉	5月1日	34.6×	63.2○	66.2○	多
王林	S ₂ S ₇	4月30日	2.4×	30.9×	60.7○	中

注) 「○」：各温度で花粉発芽率50%以上

花粉の採取方法

①花を摘む

花粉を採取する花は、風船状から開花直前の花粉が出ていないものを摘み取りましょう。

1手かご分の花で約10a分の授粉に必要な花粉が採取できます。

赤い丸で囲んだ風船状の花を採取します。



②薬落とし

摘んだ花は水分を含んでいるため、採取後はできるだけ早めに薬落としを行いましょう。薬落とし機を利用して花から薬を落とし、3mm目の金網で薬だけをふるい落とします。薬落とし機がない場合は、5mm目の金網の上で花を手のひらでこするか、細かいクシなどを利用して良いです。

なお、濡れた花を採取した場合は網袋に入れ、脱水機で水切り後に薬落としをしましょう。

※当JA中央りんごセンター及び本店グリーンセンターにて薬落とし機の無料利用ができます。ぜひご活用ください。

③開薬

開薬器を利用して開薬するか、開薬器がない場合は、日当たりの良い暖かい部屋などで新聞紙の上に薄く広げて管理します。

	温度	湿度	日数
開薬器	20～25℃	80%以下	1～2日
開薬器がない場合	30℃以上		2～3日置く

ふるい落とした薬をすぐ開薬に回すことができない場合は、薬が蒸れるのを防ぐために紙などの上に広げておきましょう。

花粉の保存

①花粉の短期保存

花粉をすぐ授粉に使わない場合は、密閉容器に乾燥剤と一緒に入れて冷暗所に保存することで、当年は使用できます。

なお、乾燥剤なしで室温放置した場合は、5日以内に使用しましょう。

②花粉の長期保存

花粉を長期間貯蔵する場合は、特に湿度に注意し、できるだけ低湿・低温を保つようにしましょう。

・包装の仕方

貯蔵用の花粉は開薬したできるだけ新しいものを用います。花粉の包装は通気性のある紙袋を使用し、1つの包装を200g以上にしないようにします。

・貯蔵方法

花粉は、乾燥剤と一緒に密閉できる容器に入れましょう。

・乾燥剤

乾燥剤の種類…シリカゲル(濃い青色)

乾燥剤の量…花粉と同じ量

・貯蔵中の温度と湿度

翌年の開花期まで貯蔵する場合は低温ほど良いため、家庭用冷蔵庫や冷凍庫で貯蔵します。

貯蔵中は、シリカゲルが吸湿して淡いピンク色に変わっていないか確認しましょう。淡いピンク色になりかけていたら青色のものと取り替えましょう。

※翌年取り出した花粉は徐々に温度に慣らしながら常温に戻して使用しましょう。

例) 冷凍庫→冷蔵庫(1日置く)→常温(1日置く)→容器から出す(1日置く)